

3分でサクッと読める

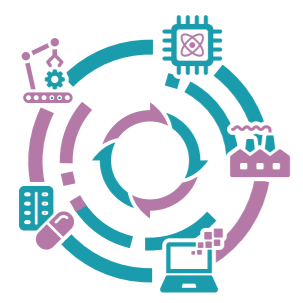
# sansaku

散策気分で、ふらっと投資信託のこと、知りませんか？

# FUTURE TREND

成長し続ける世界株式ファンド

旬の投資テーマが移り変わる中で

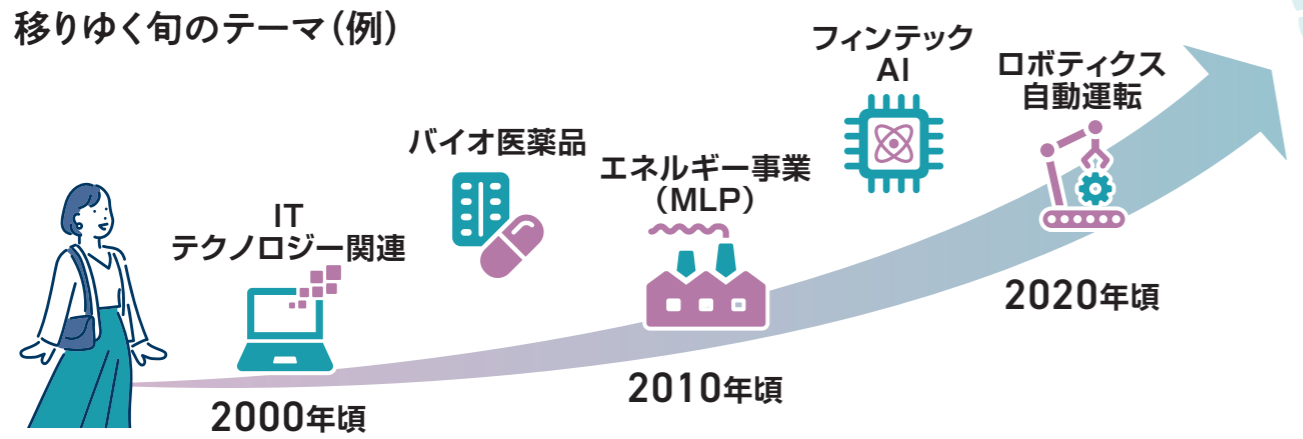


## 移り変わる成長テーマを 捉え続ける世界株式ファンド

### 旬のテーマは、移り変わる

特定のテーマに関連した銘柄に投資するファンドは多く存在します。一方で、1つのテーマに絞ったファンドは、高成長が期待できるものの、旬のテーマの移り変わりと共に以降のリターンが得られにくくなる傾向があります。

### 移りゆく旬のテーマ(例)



上記は世の中で注目されてきた投資テーマの一例であり、すべてを網羅するものではありません。すべてイメージであり、年代等の記載も正確に示したものではありません。

### 世界の成長テーマを先見し、捉え続ける

成長期待の高いテーマが移り変わる中で、その時々旬のテーマに投資し続ける「野村未来トレンド発見ファンド(愛称:先見の明)」をご紹介します。「先見の明」では、各テーマごとのスペシャリストが、世界中の企業から中長期での成長が期待できる複数の「成長テーマ」を選定し、銘柄を発掘します。また、市場環境の変化に応じて、テーマの見直しや投資比率の変更を臨機応変に行ないます。

### ファンドが投資する成長テーマ (2024年12月末現在)



各テーマのスペシャリストが  
世界中から銘柄を発掘



上記はイメージです。成長テーマは今後変更となる可能性があります。

### 気になるかも!と思ったあなたへ

## 「先見の明」のパフォーマンスを もう少しだけ散策

野村未来トレンド発見ファンド  
愛称:先見の明  
Aコース(為替ヘッジあり)  
Bコース(為替ヘッジなし)  
Cコース(為替ヘッジあり)予想分配金提示型  
Dコース(為替ヘッジなし)予想分配金提示型  
追加型投信/内外/株式



### 投資環境が変化の中で、安定したパフォーマンス

年間騰落率で見ると、1つの投資テーマに絞ったファンドと比較して、「先見の明」は相対的に安定したパフォーマンスとなりました。

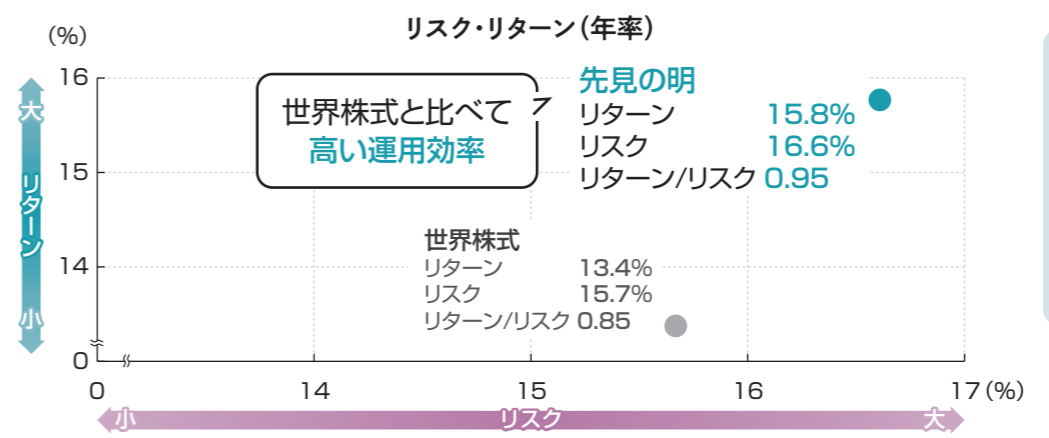
#### 各テーマの年間騰落率

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1	資源関連 30.9%	テクノロジー 32.6%	先見の明 -2.1%	テクノロジー 32.8%	テクノロジー 43.6%	資源関連 35.0%	資源関連 31.1%	テクノロジー 43.3%	先見の明 35.8%
2	インフラ 7.9%	テーマその他 23.0%	バイオ・ヘルスケア -6.5%	ESG 29.5%	ESG 24.4%	インフラ 26.5%	インフラ 6.8%	先見の明 41.8%	テクノロジー 25.5%
3	テクノロジー 2.5%	先見の明 22.0%	テーマその他 -11.9%	インフラ 27.8%	先見の明 23.5%	ESG 24.0%	バイオ・ヘルスケア -7.8%	テーマその他 25.3%	資源関連 19.6%
4	ESG 0.9%	ESG 22.0%	テクノロジー -12.2%	先見の明 27.5%	バイオ・ヘルスケア 17.1%	先見の明 23.5%	先見の明 -12.4%	ESG 19.2%	テーマその他 19.1%
5	先見の明 0.1%	バイオ・ヘルスケア 14.9%	インフラ -13.9%	テーマその他 26.3%	テーマその他 15.7%	テクノロジー 19.8%	ESG -14.5%	資源関連 10.8%	インフラ 18.2%
6	テーマその他 -0.4%	インフラ 8.2%	ESG -16.0%	バイオ・ヘルスケア 24.2%	インフラ -10.5%	テーマその他 19.0%	テーマその他 -19.1%	インフラ 9.8%	ESG 17.0%
7	バイオ・ヘルスケア -15.6%	資源関連 0.9%	資源関連 -19.3%	資源関連 14.4%	資源関連 -13.5%	バイオ・ヘルスケア 13.2%	テクノロジー -34.1%	バイオ・ヘルスケア 6.8%	バイオ・ヘルスケア 5.6%

Fundmark分類の海外株式/業種・テーマ/資源関連、インフラ、テクノロジー、ESG、バイオ・ヘルスケア、テーマその他に含まれるファンドを対象に、各ファンドの月次リターンを基に年別平均リターンを算出。先見の明は、全4コースの中で最も運用期間が長いBコース(為替ヘッジなし)の基準価額(分配金再投資)を基に算出。

### 世界株式を上回るパフォーマンスを実現

過去の「先見の明」のパフォーマンスを見ると、世界株式と比較してリスクはやや高かったものの、リターンは世界株式を上回り、より効率の良い運用となりました。



期間:2015年11月末(ファンド設定月末)~2024年12月末、月次先見の明:Bコース(為替ヘッジなし)  
リスクは月間変化率の標準偏差を年率換算しています。標準偏差とは、平均的な収益率からどの程度値動きが乖離するか、値動きの振れ幅の度合いを示す数値です。使用した指数や基準価額(分配金再投資)については次ページをご参照ください。

野村アセットマネジメントのWebサイトで詳細情報を公開しています



**当ファンドの投資リスク** ※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

**<お申込みメモ>**

● 信託期間	Aコース	無期限(2017年6月2日設定)
	Bコース	無期限(2015年11月27日設定)
	Cコース/Dコース	2030年11月14日まで(2020年1月31日設定)
● 決算日および収益分配	Aコース/Bコース	年1回の毎決算時(原則、11月14日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。
	Cコース/Dコース	年12回の毎決算時(原則、毎月14日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。
ご購入時	●ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額
	●ご購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
	●ご購入単位	ご購入単位は販売会社によって異なります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金時	●ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
	●ご換金代金	原則、ご換金申込日から起算して6営業日目から販売会社でお支払いします。
	●ご換金制限	大口換金には制限を設ける場合があります。
その他	●スイッチング	[Aコース][Bコース]間および[Cコース][Dコース]間でスイッチングが可能です。 *販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
	●お申込不可日	販売会社の営業日であっても、お申込日当日が以下のいずれかの休場日と同日の場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。 ・ロンドン証券取引所 ・ニューヨーク証券取引所

**<当ファンドに係る費用>**

(2025年1月現在)

●ご購入時手数料	ご購入価額に <b>3.3%(税抜3.0%)以内</b> で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
●運用管理費用(信託報酬)	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。 純資産総額に <b>年1.705%(税抜年1.55%)</b> の率を乗じて得た額
●その他の費用・手数料	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。(運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。) ・組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・外貨建資産の保管等に要する費用 ・ファンドに関する租税 等
●信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に <b>0.3%</b> の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

販売会社によっては、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

**課税関係**

個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。[Aコース][Bコース]はNISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。[Cコース][Dコース]はNISAの対象ではありません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

**<当資料について>** ●当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等は、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

**<お申込みに際してのご留意事項>** ●ファンドは、元金が保証されているものではありません。●ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。●投資信託は金融機関の預金と異なり、元金は保証されていません。●投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。●お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

**<分配金に関する留意点>** ●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。●投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

**<当資料で使用した指数について>** 世界株式:MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)\*当該インデックスは、ファンドのベンチマークではありません。●MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

**<基準価額(分配金再投資)について>** 基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

設定・運用は

**NOMURA**

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／  
 一般社団法人日本投資顧問業協会／  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会